

始めて みませんか？

カーリング

オリンピックの熱戦をテレビで応援していた「カーリング」。昨年、公共施設としては全国で初めて通年型の施設ができ、とても身近なスポーツとなりました。

でも、まだ体験したことがない人も多いのでは？

今月号では「する・見る・応援するスポーツ」としてカーリングに親しんでいただけるよう、その魅力についてご紹介します。

元日本代表：小笠原選手と船山選手
(北海道銀行フォルティウス)に聞く
カーリングの魅力

始めたきっかけは？

小笠原 中学一年生の時に友達に誘われて。
船山 2人とも地元が常呂町(現・北見市)で、両親がカーリングをしていたこともあり、友達に誘われてすぐに始めました。

オリンピックを目標に？

小笠原 始めた頃はオリンピック種目になかったです(98年長野五輪から正式種目)、自分が出るなんて思ってもいませんでした。
船山 今またオリンピックを目指しています。札幌からもどんどんオリンピック選手が出てほしいですね。

この競技の魅力は？

小笠原 どんなスーパースポーツでも、それは4人全員での一投なんです。コール(掛け声)のタイミングやスピードの判断、スウィーピング(ブラシで掃く)など、全てがかみ合っ

観戦のポイントとは？

船山 選手同士のやり取りですね。ミスショットになつた場合でも、常に次のプランを考えているので、作戦のやり取りに着目して見るとさらに面白いと思います。2階の観客席はガラスの仕切りがないので声も聞こえますから、ぜひ試合を見に来てほしいですね。

スポーツマンシップ

小笠原 スーパースポーツをした時には、相手の選手も観客もそれをたたえるところも重んじる競技なんです。もちろんフェアプレーの精神も欠かせません。

海外の選手との違いは？

小笠原 体格も違いますが、勝ちたいという気迫を前面に出すところがすごいし、見習うべきところ。でも、技術は日本人も負けていません。将棋や武道・武術のように、戦術を練った精神力集中などの面で、本当に日本人に向いているスポーツだと思います。

健康面、体力づくり

船山 低いフォームでバランスが必要だし、スウィーピングも全身を使うので、インナーマッスル(身体の深層部の筋肉)が鍛えられ、集中力も養われます。

お二人からメッセージを

まずは試合を見に来ていただき、面白いと思っただけ、ぜひプレーしてみてください。新たな発見があるはずです。世代に関係なく楽しむことができ、オリンピックを目指す人も愛好家も隣り合ってプレーしています。家族や友人と、また、学校や企業のレクリエーションなどでもっとカーリングに親しんでいただきたいですね。私たちへの応援もよろしくお願いします！



小笠原 歩 選手
おがさわら あゆみ
(旧姓：小野寺)



船山 弓枝 選手
ふなやま ゆみえ
(旧姓：林)



「用具も100円で借りられるし、子どもの成長ごとに買い換えなくていいから経済的」とママさんらしい発言。夏は涼みに来てね」と、とてもおちゃめな2人でした。